

## 高大連携理科教育向上ワークショップ

### 事業のポイント

■ 県立城南高等学校と徳島県教育委員会との協力の下、県内高等学校のSSH・理数科・科学クラブの生徒に対し、ワークショップを通じて課題研究のテーマの決め方の一手法を紹介し、それを参考にして各高等学校にて課題研究のテーマと研究内容の原案を考える。その研究テーマと研究の仕方に対し助言指導を行う。

### 事業の概要

#### 1. 事業の目的

県立城南高等学校と徳島県教育委員会との協力の下、県内の高等学校のSSH・理数科・科学クラブの生徒に対し、課題研究テーマの決め方及び研究の仕方に対し、ワークショップを行うと共に指導を行う。

#### 2. 事業の取組状況

平成25年11月22日(土)に、県内高校生(95名・引率教員等10名)に対し、ブレインストーミング&KJ法を用い、研究課題の机上研究を行った。生徒達は活発に議論を行い、好評の内に第1回研修会が終了した。第2回研究会は、平成27年2月21日(土)に行う予定である。前回行ったブレインストーミング&KJ法を用い、各高等学校にて、考えてきた研究課題について発表を行う。今回は、前回の反省に基

### 事業代表者・連絡先

三好 徳和 (全学共通教育センター・副センター長)  
〒770-8502 徳島市南常三島1-1  
tel / fax: 088-656-7250  
e-mail: miyoshi@ias.tokushima-u.ac.jp

づき、発表を選別すると共に、予めレジュメを提出することにより、更に深く実際に即した質問をすることとした。さらに、実際どのようにしたら、課題研究を行えるか、実験や研究に関する助言指導を行う時間を取る予定である

#### 3. 事業実施による成果と今後の展開

生徒にとっては、どの様にテーマを決めるか、また実験を行うかが悩む所である。実験した後ではなく、始まる前に、大学教員の助言が得られる点で好評であった。さらに、県内高等学校教諭とも連携を取れるようになっており、高等学校の教員からは、全国的に珍しいこの様な取組の継続が望まれた。加えて、本事業の成果ではないが、受講生が全国コンクールにて表彰されている。しかしその一助となっておれば幸甚である。

## 徳島県災害時遺体対応・遺族支援研究会研修会

### 事業のポイント

■ 死体検案訓練や研修会を通じて、南海トラフ日向灘4連動地震において活動する医師、歯科医師、看護師、保健師、臨床検査技師、臨床心理士などの医療関係者、行政関係者、警察、消防、海上保安庁、自衛隊など災害時に現場で活動する人達の間で事前の情報交換が出来る場を提供する。

### 事業の概要

#### 1. 事業の目的

南海トラフ連動地震時に地元の限られた人的・物的医療資源で死体検案や遺族対応を行う為、2011年9月徳島県遺体対応・遺族支援研究会を立ち上げた。

#### 2. 事業の取組状況

これまで毎年、死体検案訓練と研修会を行っている。出席者は、医療関係者、行政関係者、警察、消防、海上保安庁、自衛隊等、現場で活動する人達を中心である。

#### 3. 事業実施による成果と今後の展開

今回、第4回研修会に助成を戴いた。第4回研修会では、岩手医科大学高度救命救急センター秋富慎司先生と徳島大学環境防災研究センター湯浅恭史先生に講演を賜った。演題は、それぞれ「危機管理と実災害の実際―想定外と多機関・多職種の連携について―」、「災害時アクションカードの活用と事業継続」であった。災害対応という目的を同じくし

### 事業代表者・連絡先

西村 明儒 (環境防災研究センター、ヘルスバイオサイエンス研究部・教授)  
〒770-8502 徳島市南常三島町1-1 徳島大学 工学部  
〒770-8503 徳島市蔵本町3-18-15 徳島大学 医学部  
tel / fax: 088-656-8965  
e-mail: ncc1701abcde@tokushima-u.ac.jp

ても初対面の人が共同で事に当たるのは、同業者でも容易ではなく、異業種間では、尚更である。研修会の継続的実施で、現場で活躍する人達の間で情報共有と顔の見える関係を構築する事が出来、速やかな意思疎通ならびに活動を促すことが可能となると考える。



演者の方々 左:湯浅恭史先生、右:秋富慎司先生



秋富先生の講演の様子



湯浅先生の講演の様子



演者を交えた質疑応答

## 地域交流の拠点「ガレリア新蔵」

### 事業のポイント

■ 展示室の常設パネルを用いて、徳島大学を広く紹介する。  
■ 企画展示などにより、徳島大学が所有するシーズ情報を発信する。  
■ ギャラリーフロアを学内外の団体やサークル等に貸し出し、利用に供する。

### 事業の概要

#### 1. ガレリア新蔵の概要と目的

ガレリア新蔵「展示室」では、本学の沿革、組織、理念・目標、学部紹介などを和英2ヶ国語で標記した「常設展示」と、教育・研究等、本学の様々な活動を取り上げた「企画展示」を行っています。ギャラリーフロアは、学内外の団体やサークル等に貸し出し、展示や催しなどの利用に供することで、地域交流の場として利用が広がっています。

#### 2. ギャラリーフロア開催状況

利用状況は下記のとおりです。

- ①「桜のオブジェ」(4月7日～4月13日)
- ②「竹のオブジェ」(4月14日～5月12日)
- ③「留学生の書」(竹のオブジェ)(5月13日～5月30日)
- ④「留学生と教職員によるお花～夏の山～」(6月6日～6月13日)
- ⑤大学開放実践センター「楽しみながら学ぶ書道」  
春期受講生作品展(8月7日～8月10日)
- ⑥平成26年度徳島大学職員文化祭  
(10月17日～11月7日)
- ⑦奥木頭写真展「奥木頭・風土に育まれて今」  
(11月10日～11月24日)
- ⑧ポスター展示(11月29日)
- ⑨「四国遍路とコンポステラ 世界遺産への道」写真展  
(12月4日～12月19日)
- ⑩大学開放実践センター「楽しみながら学ぶ書道」  
秋期受講生作品展(12月24日～12月26日)

### 事業代表者・連絡先

吉田 和文(地域連携戦略室長)  
連絡先: 〒770-8501 徳島市新蔵町2-24  
tel: 088-656-9752 fax: 088-656-9965  
e-mail: galleria@tokushima-u.ac.jp

⑪平成26年度徳島大学しんくら展(2月6日～2月20日)

⑫平成26年度徳島大学書道部・OB会書道展  
(3月12日～3月15日)

⑬大学開放実践センター「楽しみながら学ぶ書道」  
冬期受講生作品展(3月23日～3月29日)

#### 3. 「ガレリア新蔵」ギャラリーフロアの利用法等

「ガレリア新蔵」ギャラリーフロアは、徳島大学事務局と同じ徳島市新蔵町の徳島大学地域・国際交流プラザ(日亜会館)1階にあります。

利用希望の方は、下記の「ガレリア新蔵 Web サイト(URL)」で、「ご利用案内」から「ギャラリーの貸し出し」のページをご覧ください。使用申込にあたっては、下記サイトに掲載している申請書にご記入の上、申請書郵送先(〒770-8501 徳島市新蔵町2丁目24番地 徳島大学ガレリア新蔵)まで郵送して下さい。申請書は、ガレリア新蔵にも置いてあります。

なお、現在、展示室については土曜日・日曜日は閉館とし、月曜日～金曜日の平日に開館しています。



ガレリア新蔵Webサイト:

<http://www.tokushima-u.ac.jp/gsl/>

